科目名			担当教員	
基礎演習			門脇　佳代子	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
AB1033	2	1	SR（講義）	1 年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

※2017 年度以前に「基礎演習」（科目コード：AB1145・DA2145、1 単位）を履修登録し、単位修得していない方もこの科目を履修登録できます。単位修得済の方は履修登録できません。

科目の概要

■科目の内容

通信教育での基盤となるレポート学習の仕方について学びます。

【スクーリングで学ぶ内容】

福祉にまつわるさまざまな問題からテーマを設定し、グループごとに話し合い、議論された内容について資料（レジュメ）を作成し、最後にグループ発表を行っていただきます。適切な情報収集のために必要な書籍とインターネットの活用方法や、聞き手（読み手）に伝えるための内容構成について学びます。一方的な講義形式ではなく、学生が主体的に参加する演習形式です。受講生の自由な視点からの、活発な議論を期待します。またグループ学習を通じ、普段の学習方法についての情報交換や学習仲間をつくる機会にもしてください。

【レポート学習で学ぶ内容】

スクーリングでグループごとに作成した資料（レジュメ）を骨子として、レポートを執筆します。レポートとしての正しい書式や構成、表記方法を学びます。

■到達目標

１）一つのテーマや話題について討議し、他者の意見を傾聴しながら、新たな気付きを得、またそれらを自身の中で再構築し表現することができる。

２）レジュメの作成を通じてレポート学習の手順を理解し、正しい書式で要点を押さえたレポートを書くことができる。

３）学友の輪を広げる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 50%＋スクーリング評価 50%

■教科書・参考図書

【教科書】

佐藤　望［編著］、湯川　武・横山千晶・近藤明彦『アカデミック・スキルズ　第４版　―AI 時代の知的技法入門―』慶應義塾大学出版会、2026 年（第 4 版でなくても可）

（最近の教科書変更時期）2026 年 4 月

（スクーリング時の教科書）スクーリングにあたって、上記教科書は使用しません。資料を配付します。

【参考図書】

市古みどり［編著］・上岡真紀子・保坂睦『アカデミック・スキルズ　資料検索入門　レポート・論文を書くために』慶應義塾大学出版会、2014 年

慶應義塾大学教養研究センター［監修］・大出敦『アカデミック・スキルズ　クリティカル・リーディング入門―人文系のための読書レッスン』慶應義塾大学出版会、2015 年

世界思想社編集部［編集］『大学生　学びのハンドブック』世界思想社、2018 年（4 訂版）

スクーリング

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	オリエンテーション	自己紹介・グループ分け・テーマ設定
2	グループワーク①	資料を元にグループで話し合い・レジュメ作成
3	グループワーク②	資料を元にグループで話し合い・レジュメ作成
4	グループワーク③	資料を元にグループで話し合い・レジュメ作成
5	グループワーク④	グループ発表（プレゼンテーション）の練習
6	グループ発表①	グループ発表と討議
7	グループ発表②	グループ発表と討議・講評
8	ふり返り・質疑応答	グループワークのふり返り
9	スクーリング試験	グループワークの感想をまとめる

■講義の進め方

グループワークとグループ発表、個人レポート（感想）提出を行います。

■スクーリング　評価基準

授業への参加状況（80%）＋スクーリング試験（20%）で評価。グループワークや討議への参加状況や発表内容から総合的に評価します。グループ内で積極的に協力し合い、課題に取り組んでください。

■スクーリングで必要なもの

スクーリング時のグループ学習においてコピーする場合があるので、コピー代（10 円玉 10 枚程度）を各自で用意してください。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書の第 1 章を読んできてください。また福祉をめぐるさまざまな社会問題（障害者支援・格差・子育て等）について、日頃から関心をもつようにしてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

演習で取り組んだテーマについて、不明点や調べ足りなかった部分を各自でさらに掘り下げてみましょう。また、演習時のテーマでレポート学習を行ってください。

レポート学習

■在宅学習８のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	テーマの検討 (1 章)	スクーリングで取り上げたテーマについて、学問的な問い（公共的・普遍的）であることを検討する。	スクーリングで作成したレジュメを元に、問題提起と結論の対応関係に留意して、レポートの中で何を述べたいのかを考えましょう。主張したいことを端的に表わしたフレーズがテーマになります。
2	情報（文書）収集 (3 章)	単行本、新聞・雑誌といった刊行物を中心に、参考文献（図書）の集め方を学ぶ。	図書館を活用して、適切な文書資料の収集を身につけましょう。
3	データベースの活用 (3 章)	インターネットからの情報収集を学ぶ。	適切な資料にたどりつくために、OPAC（オンライン蔵書目録）や白書などのデータベースの使い方を習得しましょう。
4	クリティカル・リーディング (4 章)	クリティカル・リーディング（批判的読解）を理解し、実践する。	テキストや参考文献を正しく理解するためのクリティカル・リーディングを意識した学習方法を身につけましょう。精読と速読を交互に行うことも効果的です。
5	情報整理 (5 章)	収集した情報を、レポート課題に沿って整理する。	情報のカード化、ノートでの整理、パソコンでのデータ化など、自分に合った情報整理の仕方を探しましょう。
6	研究のアウトプット (6 章)	他者に伝えるための文章化を行う。	テーマに対して、自分が述べたいことを常に意識することが大事です。また取り上げる資料は、客観的な根拠となるかに注意しましょう。
7	レポートの書式と引用・出典の仕方 (8 章・附録)	正しい書式と引用・出典明示を学ぶ。	レポートには、学問として求められる、書式や引用・出典明示の仕方があります。限られた文字数の中で書き手の意図を正確に伝えるために、これらのルールを守ることは必須です。
8	文章表現 (8 章・附録)	他者に伝えるための正確な作文を学ぶ。	テキストに記載されている作文の留意点を意識しながら、書き上げたレポートを読み返し、文章を推敲しましょう。

■レポート課題

※スクーリング受講後に提出してください

1 単位め	スクーリングで取り組んだテーマについて、グループごとに作成したレジュメを元にして、レポートにまとめなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

スクーリングの受講後に、授業で取り組んだテーマのレポートを作成・提出いただきます。レポートの書き方に絶対はありません。なぜなら、皆さんは一人一人、大学を通じて学びたいと思っている事柄も違えば、勉強の仕方に向き不向きもあるからです。はじめは、ご自身に合った勉強方法を探すつもりで、レポート学習に取り組んでみてください。一人での学習に不安を感じる場合は、スクーリングや科目修了試験の際に周囲の方に話しかけてみるのもよいでしょう。不安や工夫している点など、お互いの情報交換から得られるものは大きいと思います。基礎演習ではグル

ープワークを中心にスクーリングを行いますが、いつも受講生の皆さんは力を合わせて課題に取り組み、和やかな交流を育んでいらっしゃいます。

学問の第一歩は、「分からない」を自覚することだと思います。困難も多いと思いますが、皆さんの学習が一歩一歩着実に進んでいくことを願っています。

■レポート　評価基準

スクーリング時にお話しします。